

高等学校 令和7年度（3学年用）

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1組：鈴木）（2組：小林）（3組：小林）（4組：鈴木）（5組：鈴木）

使用教科書：（明解 歴史総合 帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史及び展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を入れて養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を入れて養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史及び展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を入れて養う。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を入れて養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 ・イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。 ・フランス革命によって、政治と社会はどの様に変化したのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたのだろうか。 ・欧米による世界市場の形成は、世界をどの様に変えていったのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フランス革命は、当時のヨーロッパやアメリカ大陸の政治にどのような影響を与えたのだろうか。 ・欧米で起こった市民産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	【イギリスの革命とアメリカの独立】 【フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け】 【フランス革命の影響と国民意識の芽生え】 【産業革命で変わる社会】 【イギリスの繁栄と国際分業体制】	【知識・技能】 ・イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制について、啓蒙思想について着目して理解している。 ・フランス革命の理念を人権思想に着目して理解している。 ・ナポレオンによってフランス革命の成果がどのように定着し、その失脚後にはどのような国際的枠組みが作られたのか理解している。 ・産業革命の進捗と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 ・世界の工場と呼ばれたイギリスの繁栄について、内政・外交の両面から理解している。 【思考・判断・表現】 ・イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、理解している。 ・フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのか考察し、根拠に基づいて表現している。 ・ナポレオンの果たした役割を近代化の進展という観点から考察し、表現している。 ・産業革命による社会の変化に注目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 ・資本主義の展開や国際分業体制の形成によって、世界各地でどのような変化が現れたかについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 ・1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。 ・イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家形成を展開したのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したのだろうか。 ・第二次産業革命後、世界規模でどのような変化があったのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代化が進む中で、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	【1848年～近代ヨーロッパの転換点】 【イタリア。ドイツの統一とロシアの近代化】 【アメリカの拡大と第2次産業革命】 【帝国主義と世界の一体化】	【知識・技能】 ・国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ・国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に注目して理解している。 ・イタリア・ドイツの統一とロシアの改革を推進した人物に注目して、これらの国々の近代化について理解している。 ・アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争について、国内の一体化と経済発展に着目して理解している。 ・19世紀末の世界の一体化について、帝国主義政策による列強諸国の植民地獲得競争に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯と特徴について考察し、表現している。 ・ドイツとロシアの近代国家形成の特徴について考察し、表現している。 ・アメリカが工業大国になった原因について、科学技術や経済に着目し、表現している。 ・帝国主義や移民による大規模な人口移動が、アジアとアフリカに何をもたらしたのかについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

1 学 期	C 単元 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 ・イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 ・どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 ・清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 ・日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 ・日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】	【『西洋の衝撃』と西アジアの変化】 【南・東南アジアの植民地化】 【ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争】 【黒船の来航と日本の対応】 【新体制の模索と江戸幕府の滅亡】	【知識・技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 ・ヨーロッパ諸国の進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対立をとったのか理解している。 ・ヨーロッパ諸国の進出に対する日本・清の対応と結果を、行動主体に着目して理解している。 ・欧米諸国に対して日本側が採った対応を、幕府と藩に着目して理解している。 ・欧米諸国の進出によって生じた、明治維新へ向けた日本の政治の変化を、行動主体とねらいに着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・オスマン主義とパン＝イスラーム主義の違いとそれらが生まれた背景について考察し、表現している。 ・植民地になった地域の社会がどの様に変化したのか考察し、表現している。 ・アヘン戦争とアロー戦争によって、清とヨーロッパ諸国の貿易や外交関係がどの様に变化したのか考察し、表現している。 ・清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現している。 ・旧幕府和新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	7
	D 単元 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 ・江戸時代の日本と世界は、どのように結びついていたのだろうか。 ・江戸時代後期の日本はどのような社会だったのだろうか。 ・18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結びついていたのだろうか。 ・近代国家形成のためにどのような政策を進めていったのだろうか。 ・日清戦争・日露戦争の結果は世界各国に対して、どのような影響を与えたのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのだろうか。 ・明治維新により、日本は、どのような国家に変容したのだろうか。 ・近代化により、東アジアとの国際関係は、どのように変化したのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・18世紀の日本やアジア・ヨーロッパは、それぞれどのように結びついていたのだろうか。 ・日本や東アジアは近代化を通じてどのように変化したのだろうか。	【アジアの中の江戸幕府】 【成熟する江戸社会】 【清の繁栄と結びつく東南アジア】 【アジア・アメリカに向かうヨーロッパ】 【近代化が進む日本と東アジア】 【新政府の誕生】 【近代国家を目指す日本】 【日本と清の近代化と日清戦争】 【列強の中国進出と日露戦争】 【日露戦争が与えた影響】	【知識・技能】 ・18世紀のアジア各地間やアジア諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ・16～17世紀のアジア諸国の交易が盛んになった理由として、その中で日本が「4つの窓口」による限定的な交易を行ったことについて理解している。 ・農業の展開・交通網の整備・平和で安定した社会の中での教育の普及や発達がみられたことについて理解している。 ・清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について、理解している。 ・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自らの言葉で表現している。 ・江戸幕府が貿易を統制した目的について考察し、表現している。 ・幕末以降の日本の近代化との関連を考察し、表現している。 ・銀に注目し、清と近隣諸国、ヨーロッパとの交易の特徴について考察し、表現している。 ・三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。 ・明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自らの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀の世界の交易が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。 ・明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 ・ドイツとロシアの対立政策の変更に、どのような対立を生んだのだろうか。 ・第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 ・第二次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とはどのようなもので、日本においてはどのように形成されていったのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の国々と国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 ・どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 ・第一次世界大戦後、東アジアや中東諸国ではどのような変化が起こり、人々に影響を与えたのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。 ・欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。	【ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張】 【総力戦となった第一次世界大戦】 【ロシア革命と大戦の終結】 【国際協調と大衆社会の広がり】 【ヴェルサイユ体制の成立】 【東アジアの民族自決の行方】 【中東・インドの民族自決の影響】 【ヨーロッパの復興と大衆の政治参加】 【大衆社会の出現とアメリカの繁栄】 【日本における大衆社会の形成】	【知識・技能】 ・国際関係の視点を中心に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ・ドイツの対外政策の変更が与えた国際関係への影響について理解している。 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦闘に協力したのかについて考察し、自らの言葉で表現している。 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自らの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の参加が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。 ・ヴェルサイユ体制ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	18

期	定期考査			○	○		1
	B 単元 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ・第二次世界大戦は、どのようにして、世界規模の大戦になっていったのだろうか。 ・第二次世界大戦は、どの様に終結し、どのような問題を残したのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々を引き付けていったのだろうか。 ・何故、日本は、満洲への進出へと突き進んだのだろうか。 ・名座、日本は、日中戦争へと突き進んだのだろうか。 ・第二次世界大戦はどのように進展したのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。	【世界大戦が与えた影響】 【ファシズムの台頭と拡大】 【政党政治の断絶と満州事変】 【日中戦争の始まり】 【第二次世界大戦の展開】 【戦局の悪化と被害の拡大】 【第二次世界大戦の終結とその惨禍】	【知識・技能】 ・世界恐慌から第二次世界大戦に至るまでの経緯について、大衆マスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ・世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 ・ドイツ・イタリアのファシズム勢力が大衆を引き付けた理由と経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自らの言葉で表現している。 ・ブロック経済の狙いと、国際的な影響と問題点について考察し、表現している。 ・ファシズム勢力に、大衆が同調したり、見過ごしたりした理由と課題について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界恐慌の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 再出発する世界と日本 【知識及び技能】 ・第二次世界大戦後、どの国を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 ・アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 ・日本軍が撤退した後のアジア諸国は、どのように主権を獲得していったのだろうか。 ・占領下の日本では、どのような国が目指さ国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第二次世界大戦を経て、国際秩序はどの様に変化したのだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦は欧米諸国に対してどのような影響を与えたのだろうか。	【戦後の新たな国際秩序】 【冷戦の始まり】 【日本撤退後の東アジア】 【日本の改革と独立の回復】	【知識・技能】 ・世界恐慌から第二次世界大戦に至るまでの経緯について、大衆マスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ・世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 ・ドイツ・イタリアのファシズム勢力が大衆を引き付けた理由と経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自らの言葉で表現している。 ・ブロック経済の狙いと、国際的な影響と問題点について考察し、表現している。 ・ファシズム勢力に、大衆が同調したり、見過ごしたりした理由と課題について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界恐慌の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追求しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70